

経営健全化方針に基づく取組状況（令和5年度）

○法人名：株式会社ルネサンス棚倉

○経営健全化方針を策定した理由：

平成30年度債務超過額が171,573千円発生したため、策定したものの。

○財政的リスクの状況

| | 令和3年度 決算 | 令和4年度 決算 | 令和5年度 決算 | 目標達成年度 (令和5年度) |
|--------------------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------------|
| 債務超過額 (千円) | 262,528 | 278,825 | 283,807 | 0 |
| 事業の内容に応じて時価で評価した場合の債務超過額 (千円) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 損失補償、債務保証 及び短期貸付けの 合計額(A) (千円) | 70,000 | 50,000 | 0 | 100,000 |
| 標準財政規模(B) (千円) | 4,756,148 | 4,554,940 | 4,523,771 | — |
| 実質赤字比率 (%) | — | — | — | — |
| (A)／(B) (%) | 1.5 | 1.1 | 0 | 3%未満 |

○主な取組状況（令和6年6月現在）

【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

- ・閑散期、繁忙期の業務量の変動に全スタッフが機動的に運営できる体制を整え、繁忙期においても短期契約社員を雇用せずに安定したローコスト運営にあたった。
- ・これまでの紙媒体による予約受付事務等をクラウド上で管理・運営することで業務量の削減を図り円滑な運営にあたった。
- ・団体向けの Web による営業やYouTube広告を活用する等、SNS による発信を基本とした販促を行うことで効果的な営業に取り組んだ。
- ・物価高騰やエネルギー価格の高騰により経費削減効果が薄まっているが、経常損益が前年度比 11,316 千円と大幅に改善した。

【地方公共団体による財政的なリスクへの対処のための対応】

- ・毎月 1 回実施している連絡調整会議において、毎月の目標に対する実績の点検・評価や企画内容等について提案するなど助言等を行った。

○法人の財務状況

（貸借対照表から）

（単位：千円）

| | 令和3年度決算 | 令和4年度決算 | 令和5年度決算 |
|--------------------|----------|----------|----------|
| 資産総額 | 233,195 | 194,210 | 167,084 |
| （うち現預金） | 184,208 | 131,730 | 120,723 |
| （うち売掛金） | 3,412 | 15,665 | 4,651 |
| （うち棚卸資産） | 2,262 | 3,031 | 2,676 |
| 負債総額 | 495,723 | 473,035 | 450,892 |
| （うち当該地方公共団体からの借入金） | 140,000 | 136,000 | 128,000 |
| 純資産額 | △262,528 | △278,825 | △283,807 |

（損益計算書から）

（単位：千円）

| | 令和3年度決算 | 令和4年度決算 | 令和5年度決算 |
|------------|---------|---------|---------|
| 売上総利益 | 111,148 | 163,312 | 159,200 |
| 販売費及び一般管理費 | 242,987 | 242,434 | 221,990 |
| 経常損益 | △54,110 | △16,113 | △4,797 |
| 当期純損益 | △54,303 | △16,298 | △4,982 |